

令和3年2月号



三島村立三島硫黄島学園  
学校だより

## 「立志式」～凛とした8年生に期待します～

校長 石岡秀久

2月3日(水)に8年生を祝う立志式を本校集会室で行いました。ご存じのように新型コロナウイルスの影響で、式は簡素化され、在校生・保護者のみの参加となり、例年に比べ寂しい中での実施でした。

ところが、とても立派な式に感じたのです。参加者も少なく、装飾も簡素化された式ではあったのですが、決意表明をする8(中学2)年生が緊張の中にも凛としたたたずまいで、決意や感謝、硫黄島に對しての思いを堂々と披露してくれたのです。登壇する姿勢や決意表明に本校職員の指導の様子が感じられました。大人としての立ち居、振る舞いを立派に体現してくれた8年生の将来に対する可能性を大いに感ずることでした。

私見になりますが、子供がいてこそ親になると思っています。子供が親にさせてくれていると思っています。我が子の誕生を喜び、感謝するも、いつの間にか同年齢の子供と比較したり、兄弟間で比べたりしてしまいがちです。(自分自身の反省です。)親の思いは「他人様に迷惑かけることなく、飯食っていける大人になってほしい。」に尽きるのではないのでしょうか。立志式という節目の行事を通して、改めて振り返る機会になりました。

最後になりますが、今年度は式の進行も生徒が務めました。とても上手に進行できましたし、前期課程(小学校)児童の聞く態度も素晴らしかったこともお伝えいたします。



智さんは「感謝」、心美さんは「島を誇りに」、來夢さんは「七転八起」、千波さんは「硫黄島に来て」、朋さんは「立志を迎えて」というテーマで、堂々と立志の誓いを述べました。(七彩葉さんと龍空さんが進行でした。)

## <クセモンつきにみえもした>



1月7日の朝、男の子たちが集まり、島内の家庭をまわり、厄払いを行いました。当日は、雨が降り寒さもひとしおでしたが、最後まで終わることができました。子どもたちへの励ましの言葉や応援、ありがとうございました。子どもたちの頑張りがコロナウイルスの影響を吹き飛ばしてくれることを期待します。

下記のURL またはQRコードから「みしまっ子日記」をチェックしてください!! <http://www.mishimamura-sch.jp/mishimakko/>



## <緊張の瞬間>～百人一首大会～

静まり返った9年生教室に上の句がひびき、パシッという音とともに下の句を取る。1対1での勝負に全員が、普段とは違う雰囲気を感じていました。昼休みや放課後を利用して、少しずつ練習してきたので、1枚1枚の価値が違いました。終わった後「緊張したあ」と言う子や負けた悔しさで涙を流す子もいました。始まりと終わりはきちんと「礼」を交わすことで、これまでの取組を互いに認め合うさわやかな大会となりました。しおかぜハウスでは、当日の夜、百人一首を練習するなど、来年も盛り上がること間違いなしです。



## <鬼は外>～みしまっ子の節分～

自分の中の鬼を払うために、みしまっ子たちは豆をまきました。集合写真を見ると、新しい気持ちで毎日を過ごしていける表情になっていますね。頼もしい島の子になってくれることでしょう。



## <交通安全>～さっちゃんこんにちは～

駐在所の畠中さんの計らいで、交通安全協会から、飛び出し注意看板「さっちゃん」を設置してもらいました。

子どもたちは、さっちゃんにあいさつすることで、飛び出すことが減っているようです。



## <すばらしい感性>「せかいのへいわ」

福迫樹利亜さんの青少年赤十字100もじさくぶん支部賞をいただきました。作品は校内に掲示してあります。みしまっ子日記として初めての「学校しょう賞」も受賞することができました。